

# お灸で乳牛の受胎率を上げる

人工授精をした後にお灸をすると、黄体ホルモン値が上昇し、受胎しやすくなることが分かりました。なかなか妊娠しない牛に、お灸を試してみてもいいのではないでしょうか。

## 用意するもの

- ミノ (1回で約100g)
- もぐさ (1つのツボに1g)
- ミノを塗るスプーン
- ライター
- 水入りバケツ
- 頭絡
- 尾を固定するカウクリップ又はロープ
- 《あると便利なもの》
- ☆ミノをするすり鉢
- ☆お灸後ミノを取る木の棒

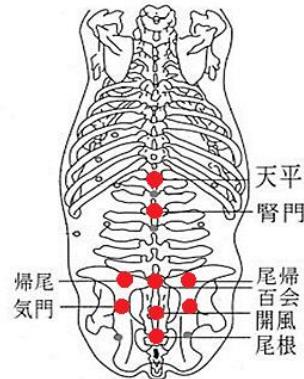


ミノをすって  
なめらかにすると  
熱が伝わり  
やすくなります

市販のもぐさ

## 実施方法

人工授精の7~10日後の  
黄体開花期に、右図の  
9つのツボに3日連続で  
お灸をします。



天平: 最後肋骨を辿った背骨との交点の後ろの点  
腎門: 天平の二つ後ろの点  
百会: 左右の腰角と背骨の交差する点  
尾帰: 百会から腰角へ8cm離れた点  
開風: 百会と尾根の中間の点  
気門: 開風から横に下りて、尾帰の後ろの点  
尾根: 尾を持って上下に動かして動きの止まる点

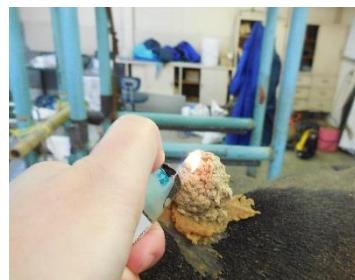
出典: 保坂虎重・白水完児(1997)『家畜のお灸と民間療法』農文協



①頭と尾を固定する  
カウクリップを使うと尾が上がらず  
便利です。



②9つのツボにミノを塗り(直径  
5cm程)、もぐさをピンポン玉大  
に丸めてのせる。



③もぐさに点火  
煙が出れば、火はついてます。



④お灸開始  
**火の管理に十分注意しましょう**



⑤もぐさに点火してから10分程で  
燃え尽きますが、もぐさの中はまだ  
温かいです。



⑥15分後、もぐさが熱くなければ  
お灸終了です。ミノと木を圧着さ  
せてふき取ります。

## 注意

頭を固定しないと...



体の柔らかい牛は振り返ってミノをなめます。固定できな  
い場合は餌を与えるとおとなしくなります。



初めてお灸をする牛は熱さに  
驚くことがあるので、ミノを厚く  
塗ると安心です。

夏でもお灸は出来る

夏の暑い時期でも牛の体温が**39.5℃**を超  
えなければお灸を行うことが出来ます。  
**風で火をつけたもぐさが飛ばないように十  
分に注意しましょう。**

品種によっては注意が必要



ジャージー種ではヤケドが  
長く残りました。お灸には  
向かないようです。

## お灸の研究結果

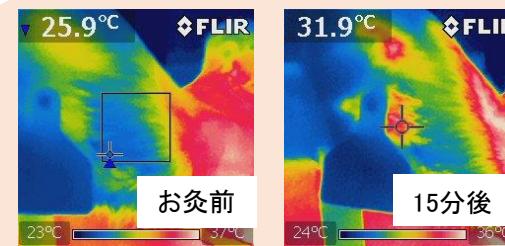
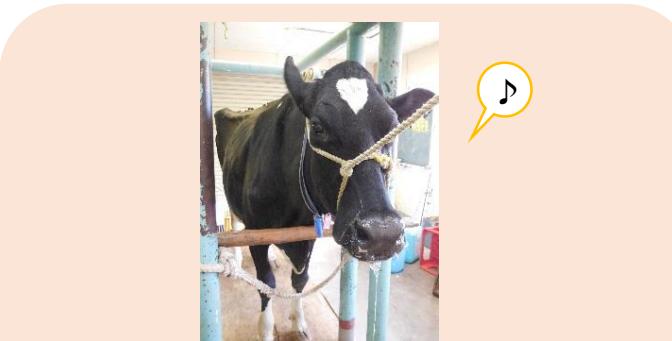


図1 サーモグラフィによる耳の温度  
お灸開始後15分程で耳の温度が上がります。

表1 お灸中の排尿・排便の確認

	排尿(%)	排便(%)
お灸ナシ	2	7
お灸アリ	22	69

排便・排尿はツボに効いているかの指標になります。



お灸が気持ち良いと、よだれが出る場合があります。

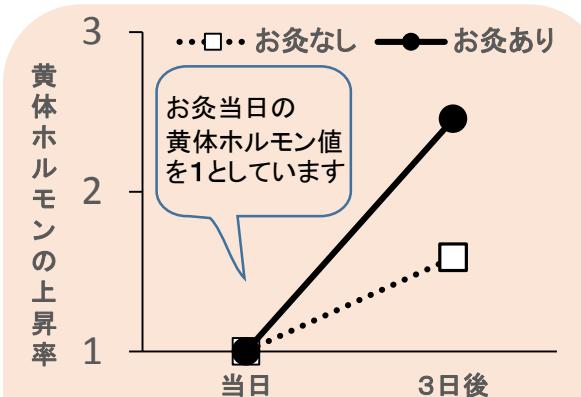


図2 黄体ホルモン値の変化

お灸で黄体ホルモンが上がりやすくなります。

表2 人工授精回数・空胎日数別の繁殖成績

	AI回数(22頭)		空胎日数(17頭)		
	≤3回	4~7回	≤200日	201~300日	301日≤
受胎率 (%)	50	<b>70</b>	50	50	<b>67</b>

人工授精回数が4回以上や、空胎日数が301日以上牛でも  
お灸後に受胎を確認しました。

お問い合わせ  
東京都青梅市新町6-7-1  
(公財)東京都農林水産振興財団  
農林総合研究センター  
畜産技術科 三山・小山  
電話 0428(31)2171  
FAX 0428(31)8474